

出品者各位

Ten.ten 2021 in 横浜赤レンガ倉庫 一筆と腕一

(この展覧会がしっかりできることを願って一の延期です)

開催日程、2021年4月27日(火)~5月3日(月) 27日 13:00~、3日~17:00、  
11:00~18:00

27日(火) 9:00~12:00 搬入展示、昼食、打ち合わせ、集合写真等。

・ 13:00 開展、~18:00

・ 13:30~15:00 ギャラリートーク (出品者へのインタビュー形式)

・ 15:30~17:00 7-7ショップ (小川裕山氏企画)

29日(木) 15:30~16:30 シンポジウム、5名の出品者による。

17:30~18:30 レセプション (会場内) → 二次会有

・ 7-7ショップ 毎日 13:00~ 希望者は目を指定下さい。(石井へ、Telで)

・ ギャラリートーク 毎日 14:30~ 会期中に1人1回は必ずやりたい。

3日(月) 17:00~ 搬出。

この企画は、コロナ禍で変更の場合もあります。赤レンガとの相談で決めます。

※前に送った展覧会要項は、日程の変更以外は全て、行います。チャリティ小品の販売も行います。(借館料には関係ありません)

### 今後の予定

2021年3月10日(月) フライヤー(A4版・11枚)、カタログ、目録、完成

3月3日(水) 出品者へ、フライヤー、カタログ、目録 発送

3月6日(土) ネット、美術館、ギャラリー、大学等へ、フライヤーの発送(石井)

・ 来場予定等のアンケートは来場になったら再送うかがいます。

・ お預りした出品料、作品等はそのままお戻りいたします。岡さんには頭数のみ戻す。

### 延期の経緯

・ 6月2日、赤レンガより、メールとTel有。メール内容には国と県からのコロナ対策通文(7枚)と赤レンガからそれを元にした文書2枚でした。それを見て(別紙2枚参照)。

4日、赤レンガに行き担当の小川さんとお話をしました。今年中の延期ではどうしても実のある展覧会ができるかという点で、来年4月・5月の展覧会を提案され、それが現時点ではベターであると考え、その場で決定しました。

・ 4月5月の連休で、赤レンガ広場ではビール祭りがあるから、うるさいか...というところだったが、祭りができる程度だったら、尚いいのにネ、ねどと話しながら...の決定でした。(赤レンガも当惑にはいろいろとよくしてくれています。)

## 新型コロナウイルス感染拡大防止のための 施設利用上のお願い

当館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内の消毒や換気を行うなど利用者の皆様が安心してご利用いただける取り組みを進めております。

今後は「新しい生活様式」をはじめ、内閣官房（新型コロナウイルス感染症対策推進室）による「イベント開催制限の段階的緩和の目安」や、関連する業界団体が作成したガイドラインに沿って、下記のとおり運営を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、6月19日以降の取扱いについては、改めてお知らせいたします。

### 全ての方へのお願い（観覧者を含む）

- ◆予めご自宅等で検温をお願いします。発熱（37.5℃を目安）又は風邪の症状がある場合は来館をお控えください。
- ◆施設入館時に手指消毒又は石鹸による手洗いをお願いします。
- ◆マスク着用又はハンカチで口を覆う等の咳エチケットをお願いします。
- ◆利用者同士で最低1m（できれば2m）の距離を保ってください。
- ◇大声での会話はご遠慮ください。
- ◆備品を利用する際には、手指消毒又は石鹸による手洗いをお願いします。また、備品類の取扱者を事前に定め、複数人での共用はご遠慮ください。

### 主催者（代表利用者）様へのお願い

#### ■事業計画時に配慮する事項■

- ◇展示室に同時に入場できる人数は1スペースにつき46人までです。この人数を上限として、入場制限を行ってください。※人数にはスタッフも含まれます。
- ◆展示室内では、イベント（ギャラリートーク、表彰式等）を実施できません。
- ◆大型バスでの来場など、団体客の受け入れはご遠慮ください。
- ◇日時指定予約や時間制来館者システムの導入を検討してください。

（裏面に続く）

◆：必須項目   ◇：推奨項目

—下の事項の他に、—

◦ 換気の為、部屋の窓を開けること。(これは、展示スペースが無いため)

又、段階的解除+なので、いつ≒窓が開けるか予測できないこと。

ほぼ1ヶ月毎

冬場は、コロナの2波3波とインフルエンザが重なる可能性があること。

+おのりがある。

### ■展示スペースの設営にあたって留意する事項■

- ◆人の滞留や対面での会話を回避するため、間隔を置いたスペース作りの等の工夫を行ってください。
- ◇来場者同士の対面を避けるため、一方通行で観覧できるようにしてください。
- ◆屋内屋外に関わらず、展示エリアにはフロアマーカ―設置等の工夫を行い、来館者同士の距離を確保してください(最低1m、できるだけ2mを目安に)。
- ◇直接手で触れることができる展示物(ハンズオン)は感染リスクが高いため、展示しないことを原則とします。止むを得ない場合は、職員が管理して消毒を徹底してください。
- ◇屋外展示を行う場合は、鑑賞者が作品に直接手で触れることがないように、注意喚起や展示方法の工夫を行ってください。
- ◇展示エリアでの感染リスクを低減するため、清掃時の消毒を徹底してください。来館者が展示ケース等に触れる機会を減らす工夫として、パーティション等を使用することも有効です。
- ◇展示設営時に、人と人との間隔を極力とるようにしてください。

### ■来場者に対して取り組むこと■

- ◆来場者用の消毒液を用意し、展示室入口に設置してください。
- ◆パンフレット、ちらし、アンケート等を配布する場合は、平置きにするなど、手渡しによる配布は避けてください。
- ◆プレゼント等差し入れはお控えいただくよう、予め来場者にご案内ください。
- ◆来場者の氏名・連絡先を収集してください。必要に応じて保健所等の公的機関へ提供していただく場合があります。なお、神奈川県のLINE コロナお知らせシステムをご利用いただいた来場者の氏名・連絡先の収集は不要です。
- ◇入館前のサーモグラフィや非接触検温器による検温を実施してください。発熱(37.5℃を目安)等の症状がある場合には入館をお控えいただく旨の掲示をお願いします。
- ◇入場時のチケットもぎりのスタッフは、マスクや手袋を着用してください。また、来場者自身が半券を切り、箱に入れることをスタッフが目視で確認する方式等もぎりの簡略化の導入も検討してください。
- ◆展示室内(屋外展示の場合は展示エリア)では、会話を控えるように、来場者へお声がけください。
- ◆特定の展示作品の前に大勢の人数が滞留しないようにするため、スタッフの配置や自動音声による注意喚起等を行ってください。
- ◆オーディオガイド、ヘッドフォンの貸し出しを行う場合は、使用のたびに消毒し、消毒が困難な場合は貸出を中止してください。

◆：必須項目 ◇：推奨項目

横浜赤レンガ倉庫1号館